

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区 鶴岡ロータリークラブ

平成19年9月18日(火) 第2379回(本年度第11回)例会

●創立 昭和34年6月9日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10



ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心



例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (9/18)

石川 鶴岡警察署長

9月11日(第2378回)例会報告

点 鐘

ロータリーソング「四つのテスト」

卓 話：西郷南洲「敬天愛人」について

山形大学農学部名誉教授 加藤 功君

ゲスト：本村沙羅 (R財団国際親善奨学生)

ビジター：木村有為君(鶴岡西RC)

会長報告 副会長 富樫 松夫

真島会長は高校英語弁論大会に参加の為、代わって会長報告をさせていただきます。

○9/9 田川地区発明工夫展の表彰式が行われ、真島会長が参加致しました。

○9/5 クラブ会員阿部純次君のお母様がお亡くなりになりました。8日のお通夜に真島会長、9日の葬儀には本間幹事が参列致しました。ご冥福をお祈りいたします。

◆会長ショートスピーチ

先週東日本を襲った台風9号は、大きな爪あとを残しました。今日は三大厄日に触れたいと思います。

現在は気象学が発達し、観測技術も高度に発展していることから、台風の接近の時期が正確に予測出来るようになり、被害も昔に比べれば遥かに少なくなってきました。人口衛星や高層の雲のレーダー映像などを活用できなかった昔は、台風は恐ろしい存在だったでしょう。台風が来襲する時期は収穫の秋であり、最重要な農作物である米の収穫時期でもあります。台風が稲刈りの前に来るか後に来るかで、その一年の努力が水泡に帰すことすらあるわけです。また、漁を営む人達にとっても、海上で嵐に遭遇すれば生死にも関わりますので、台風を事前に

次回の卓話 (9/25)

「身近な環境問題とオゾンの有用性」

JCR 東北支店 鈴木 俊之 君

知ることは大変重要です。

こうして「嵐の来る日」として暦に載るようになったのが「二百十日」です。二百十日とは立春の日から数えて210日目ということで、同様の名前の暦日として「八十八夜」や「二百二十日」があります。

八朔(旧暦の8/1「朔日」)・二百十日・二百二十日の3日は、「三大厄日」として嵐の来襲する確率の高い「荒日」として怖られました。その厄日を風害から守るため、「風祭り」や「風の盆」などの風俗や祭りがあります。「風祭り」は農作物を風害から守るため神に祈る祭りで、二百十日前後に行われ、獅子舞によって風神を追い払う行事や、家の棟木の両端に風切り鎌を外向きにたてる風俗も中部・北陸地方などに残っています。「風の盆」は越中八尾の風の盆、あるいは「おわら風の盆」として知られ、風神を踊りにあわせて送り出す祭りで、300年以上の歴史があるそうです。このように昔から、行事や風俗又祭りなどで季節を感じながら、災害による被害を少なくなる様に取り組んでいたようです。「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉があるように、みんなで注意をしたいものです。

幹事報告

1. 毎年あなたも 100ドルを
2. 日本事務局連絡先情報
クラブの会長と幹事のための情報資料
「秋の交通安全県民運動」に関する実施要綱
薬物乱用防止に関する募金セット
11月末まで振込みをお願いします
3. 山添高校第2学年職場体験報告会実施要綱
9/13(木) 5・6時間目 櫛引公民館

会長 真島 吉也
副会長 富樫 松夫
幹事 本間 昭吉

会報委員会
事務局

青柳孝治 佐々木喆彦 白幡憲一郎
鶴岡市馬場町11-63 産業会館3階
TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3776

